

生徒と乳幼児の親子の触れ合いサポート事業

大阪府立箕面東高校

『生命を考える授業』

2022 年度報告書

子どもが少ない時代になりました。乳幼児期は自分の記憶にほとんど残っていないので、この時期の子どもと出会う機会が少ないと、魅力も大変さも実感としてわからないまま親になってしまいます。この年代の子どもは、可愛くて、ややこしくて、不思議で、おもしろい存在です。幼い子どもと楽しい時間を過ごす人は元気になり、振り回されるととても疲れます。幼い子どもたちにとって親は大きな存在ですが、一方で親以外の人と遊ぶと大きな刺激になります。安心感とワクワク感は、幼児の成長の源であり、関わるすべての人の喜びです。高校生と乳幼児の親子の出会いの楽しさと意義を感じていただければ嬉しいです。

福井聖子（NPO 法人はんもっく代表）

NPO 法人はんもっく

大阪府立箕面東高校



I. 箕面東高校授業 『生命を考える』『社会福祉入門』

開催場所:大阪府立箕面東高校(箕面市粟生外院5丁目4番63号) 2階総合実習室B

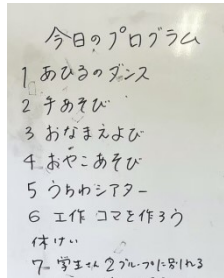
授業 :社会福祉入門・生命を考える:火曜5・6限目(13:30~15:20)・3・4限目

授業担当:NPO 法人はんもっく 遠山美穂子・西口操・三上美由紀・中村麻衣・黍迫純子

箕面東高校教諭 生命を考える:門田健司、稲木祥子 社会福祉:居安かおる

親子ふれあい授業の定番プログラム:1. あひるのダンス 2. 手遊び 3. お名前呼び 4. 親子遊び など

日替わりプログラムでは、2グループに分かれ、①こどもたちとの遊び ②話し合いを行ないました。



月日	スタッフ	参加人数	日替わりプログラム	話し合いのテーマ
5月31日 生命を考える	当団体4 +教諭2	参加2組子ども3 2年生学生12	遊び: こいのぼりを作ろう	名前の由来 今ハマっていること
6月14日 生命を考える	当団体4 +教諭2	参加3組子ども4 3年生学生12	遊び: 魚釣り・パック積木 準備: 牛乳パック電車 絵本読み聞かせ	いつもカバンに入ってる物3コ こどもができてかわったこと。 高校生になってかわったこと
7月12日 生命を考える	当団体3 +教諭2	参加1組子ども計1 2年生学生12	遊び: コマを作ろう	家族に手伝ってもらいたいこと 出産のお話
9月13日 生命を考える	当団体4 +教諭2	参加4組子ども5 3年生学生12	遊び: 新聞紙遊び 新聞紙ボール・ステッキ	出産のお話
10月25日 社会福祉入門	当団体4 +教諭2	参加3組子ども計4 社会福祉科学生6	遊び: ハロウィンマント作り	マザーズバッグ中身拝見 育児で大変なこと 学生さんが大変なこと
11月8日 生命を考える	当団体3 +教諭2	参加5組子ども計7 3年生学生6	遊び: トンボ作り	食べ物: 好きな物嫌いな物 授乳食事で大変なこと・工夫
12月13日 生命を考える	当団体4 +教諭2	参加3組子ども計4 2年生学生6	クリスマス会	今欲しいもの・今したいこと
1月24日 生命を考える	当団体4 +教諭2	参加6組子ども計7 3年生学生12	牛乳パック羽子板にお絵描き、 シールはり	一年間の感想 (3年生最後の授業)
2月7日 生命を考える	当団体4 +教諭2	参加3組子ども計4 2年生学生8	雪だるま工作	一年間の感想

交流授業風景と今年度の授業の感想



←アヒルのダンス

親子遊び

バスに乗って→



お母さんのそばで遊ぶ→





いろいろな遊びに、高校生たちは

一生懸命頑張っていました。子どもたちも楽しそう！お母さんたちも安心して楽しめました。



高校生の感想

- * 前回つかりまり立ちだった子が今回立てるようになっていて成長をみることでよかった。
- * 気になったことをずっとしたり 突然あきたり、予想外のこどもたちの行動が面白く楽しかった。
- * お母さん方のお話をきいた大変さが伝わりました。とてもいい機会でした。
- * 一年で経験したことを保育士になるために役立てたい。こどものことを色々知れた。
- * 一年間こどもたちと触れあったが自分の思い通りなかなかなかったの、毎日相手をしているお母さん方はすごいと思った。
- * こどもたちがとてもかわいかった。
- * 今まで小さい子と遊ぶ機会がなかったので 楽しかった。
- * 親の大変さ、苦しさ、辛さ、幸せさ色んな感情を知れた。



かわいい雪だるまがたくさん



←絵本読み聞かせ ↑トークタイム ↓遊び

お母さんの感想

- * 学生さんと接することで大きな刺激になり、離れて遊ぶこともできるようになり、成長できてよかった
- * 一生懸命こどもたちと遊んでくれる学生さんに感謝、とても嬉しかった。
- * 自分の世界で遊んでいた息子が生徒さんの中にも行けるようになり成長を感じた。
- * 色々な人とふれ合うのは息子にとっても良い機会になりました。
- * 刺激があり、夢中になって遊び、帰宅後ぐっすり眠ってくれるので助かりました。
- * 母のリフレッシュにもなりました。次年度も開催してほしい。



スタッフより

2年ぶりに正規の時間で年間予定日すべて授業を行うことができました。2.3年生約10名ずつが毎月交代で受講しました。10年程前は受講の大半が女子でしたが今年の2年生は全員男子でどんな感じになるのかなと思っていましたが、ダンスもしっかり踊ってくれて、参加の親子さんと積極的にお話したり、こどもたちと遊ぶ姿がありとてもスムーズに進められました。

今年度は更にこどもたちと関わってほしいと思い、ペープサート、パネルシアターコーナーを一緒にしてもらいました。数分の打ち合わせのみでの本番。上手下手でなく一生懸命取り組んでくれる姿が嬉しく、こどもたちも楽しく見てくれました。

人見知りのお子さんがママから離れてみんなと遊べるようになったり、学生さんはこどもたちの成長過程に気づけたり、育児中の親御さんの喜怒哀楽を知れたり、と一年を通して授業を行うことに意義、成長、発見があるのだと改めて気づかされました。

最後になりましたが今年度もコロナ禍の中 授業にご理解ご協力下さった親子の皆様、本当にありがとうございました。 遠山美穂子

ふれあい授業は、親子の皆さんと生徒とスタッフで作る親子の交流と生徒の社会体験を目指す相互的プログラムです。2022年度のプログラムを通して多種多様な相互関係を構築できたと自負しております。

生徒の皆さんは、乳幼児と自然体で優しく接しており、その姿を見守る母親の眼差しはとても温かいものでした。この授業を通して、生徒の皆さんも自分が愛されて育ってきたと感じられたことでしょう。また、絵本の選書の際には、年齢に関係なく楽しめるものを皆さんと共有することを心掛けてきました。読み聞かせの場では、生徒たちだけでなく大人の皆さんも心の声を素直に口に出してくれていた光景が印象的でした。これからも、絵本の楽しさを、皆さんにお伝えしていきたいと思っております。1年間どうもありがとうございました。 西口操

作成：2023年3月

編集：NPO法人 はんもっく

<http://minoh-hammock.jimdo.com>

問い合わせ E-mail: hammock_minoh24@yahoo.co.jp



令和4年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の一環として開催しています。

